

## import disc



## 外盤案内



### The Andrés Segovia Album / マルーリ

Agustin Maruri (G) EMEC E-070  
スペイン盤

●演奏家としての実績が大きいために見過されがちだが、セゴビアはここに収録されているような作品を残している。セゴビア自身は演奏家の立場を明確にし、自作の演奏は公式には行なわなかった。作曲家の才は編曲作品や、同時代の他の作曲家の作品を通して発現しているとも言えよう。作品自体は長くても3分足らずの小品ばかりであり、どちらかというと手遊び的な所が強いが、11の前奏曲集などは個別の工夫があって演奏効果としてもおもしろい。マルーリはこれらの作品をセゴビア使用のハウザーII世(No.729)で演奏している。さすが、セゴビア・トーンはセゴビア固有のものであり、そこまでの表現は期待できないが、セゴビアのプライベートに思いを馳せて楽しむことはできよう。

[毎日の練習曲、光なき練習曲、カール・サンドバーグのために、練習曲ホ長調、練習曲-ワルツ、アリのための練習曲、マカレーナ、ネブリーナ、レッスン11、12、3つのイ長調の練習曲、即興曲、トナディーリヤ、5つの逸話、11の前奏曲(セゴビア)]